

小・中一貫校 新設について

新たな
学びの
あり方

瀬戸市の中心市街地に位置する東公園に、
小中一貫校のモデル校を創設し、2020年4月から新しい学びがスタートします。

9年間を見通した連続性・系統性に配慮した学習指導を充実し、個々に応じた指導や成長の見守りを行います。また、小学校高学年から一部
中学校の専門教科の教員が乗り入れ授業を行います。

切れ目のない小中一貫教育への転換

答えを教える

答えを引き出す

『ティーチング』から『コーチング』へ 行動を促す教育への転換

自分の考えが
整理される

目標が
定められる

やるべき行動が
明確になる

行動できる
ようになる

1年生

2年生

3年生

4年生

前期4年

学習指導、生活習慣の基礎基本の徹底

5年生

6年生

7年生

中期3年

小・中の円滑な接続と学習の習熟・定着

8年生

9年生

後期2年

個性・能力の伸長、自ら解決する力の育成

にじの丘学園では、子どもたち同士の交流や教職員などの連携・協働に重点を置き、多様な教育活動に取り組んでいきます

POINT
01

連続性・系統性に
配慮した教育

「確かな学力」の
定着や向上

POINT
02

子どもたちの成長に
多くの教職員が
長きに渡って関わる

理解が深まり発達段階に応じた
きめ細かい指導を行い
学校生活への適応力の向上を図る

POINT
03

小中学校の教員が
相互に乗り入れ授業

専門性を活かした授業で
興味・関心の向上を促す

POINT
04

小学生と中学生が
異学年交流

豊かな人間性と
社会性を育む

社会的・教育的課題の多様化・複雑化

小中学校間、学年間の
指導の不連続性



学力格差



不登校の増加



地域コミュニティの
希薄化



コミュニケーション
能力の低下



少子高齢化



情報化社会の対応



全ての児童生徒に保証する

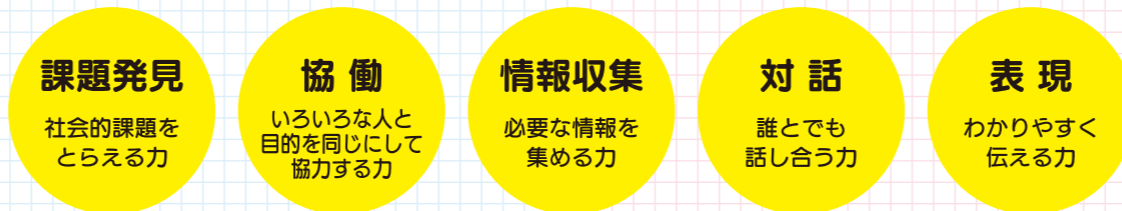
基礎基本の定着
を保証する

知識・技能の
習得

基礎基本の定着 と 応用力・対応力
を同時に高める教育プログラム

協働型課題解決能力の育成

子どもたちが生き抜く社会は、直面する様々な変化を柔軟に受け止め、どのような未来を創り、どのように人生をよりよいものにしていくかを自らが考えなくてはなりません。そのために必要である、下記の **5つの力** を合わせたものを「協働型課題解決能力」と表現しています。



応用力・対応力
を身に付ける

実践的・体験的な
活動

個別に記録・指導を行います

徹底的な授業改善

教える方改革

子どもたちとともに創り上げる授業

一斉、画一的な授業から子どもたちに寄り添う授業を展開します。子どもたちと共に目標を設定し、学習の見直しをもたせ、主体的に目標を達成できるよう一人ひとりに合った支援をします。先生は知識技能を教え込むのではなく、子どもたちが目標を達成できるようにします。

ICTを駆使した授業

プロジェクター、実物投影機やタブレット等、ICT機器を駆使することで、理解を促進したり興味関心を高めたりする授業を行います。また、ICTによって先生の仕事の効率化、合理化を図ることで、先生が子どもたちと向き合う時間を増やします。

新しい取り組み

やり方改革

毎年学力検査を実施

9年間通して行う学力検査のデータを蓄積し、分析することで、子どもたち一人ひとりの伸びや苦手な分野を把握します。また、体力や心の面の情報も合わせて子どもたちの成長を見守ります。

一人ひとりに合った学習環境

環境改善

習熟度 課題別学習

学力検査の結果や日頃の学習状況の分析によって、習熟度別に集団を構成したり、子どもたちの興味関心に基づき、取り組みたい課題別に集団を構成したりして授業を行います。

地域 未来塾

大学生や教員OB、NPOなどの地域住民の協力によって、子どもたちへの学習支援を行います。

基礎基本を身に付ける教育実践方法

応用力・対応力を身に付ける教育実践方法

キャリア教育

世界や社会に
目を向ける人材育成

世界、社会、地域、学校、学級等の現状から自分事として課題意識をもち、子どもたちが協働して課題を解決していく授業を進めることで、協働型課題解決能力を育成します。

地域学習

多面的に郷土を知る

瀬戸の自然、産業、歴史、市民の暮らしについて学習します。また、これからの瀬戸を考える学習を通して、郷土に愛着と誇りをもてるようにします。

情報教育

情報モラル

ネットいじめ、個人情報の発信などについて学び、1年生から9年間通して情報モラルを高めます。

異学年交流

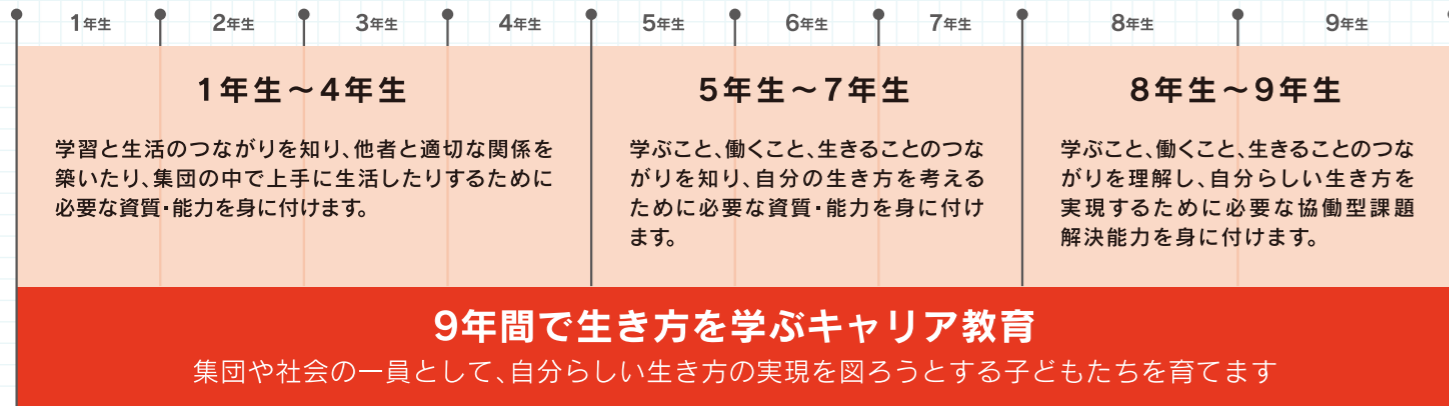
ペア学年

例えば、「保育園や幼稚園の年長と5年生」「2年生と7年生」をペア学年とし、交流活動を行います。学期に1回程度、子どもたちの実態に応じた活動を通して、「人と関わりたい」という気持ちを高めます。

プログラム
体験

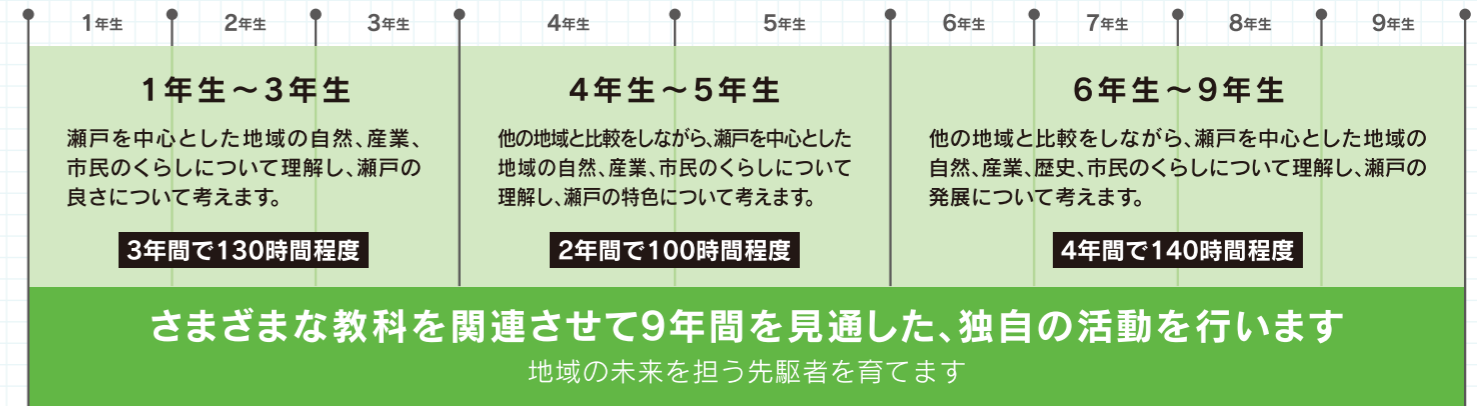
にじの丘学園のキャリア教育

CAREER



にじの丘学園の地域教育

REGION



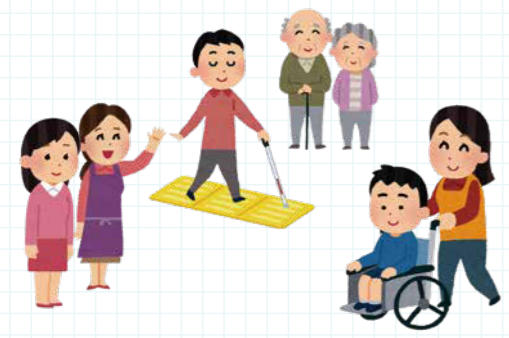
本物を学ぶ機会として

様々な分野で活躍されている方々を講師として招いて授業を行います。講師の方々の職業観や生き方に触れることを通して、自分らしい生き方を考える機会とします。



様々な人の生き方

キャリア教育の中では、さまざまな人の生き方に触れます。



職場探求

子どもたちが職場体験事業所を通じて、勤労観を養うとともに、その職業における課題を発見し、主体的に今後の展望やあり方について考えます。子どもたちの未来の仕事にフォーカスした活動とします。



郷土について知ります！

瀬戸の自然、産業、歴史、市民の暮らしについて学習します。また、他の地域の特色を学習することで、他の地域にはない瀬戸の特色を理解できるようにします。

関連教科
○生活科 ○社会科 ○道徳
○総合的な学習の時間



未来について話し合います！

瀬戸が抱える問題を解決したり、理想のまちづくりを実現したりするために、実現すべき政策を考えます。さらに、今後、個人としてどのように瀬戸と関わっていくかを考えます。

関連教科 ○社会科 ○総合的な学習の時間



多面的に文化・歴史をとらえます！

瀬戸焼をはじめとする地域の歴史、文化、産業の現状をとらえ、さまざまな視点から地域について学びます。

関連教科 ○社会科 ○総合的な学習の時間

先人の技を体感します！

まち探検に出かけ、土地利用の様子や公共施設の働き、自分たちがくらす地域の良さを体感します。また、子どもたちが、興味のある窯元を訪問し、陶芸職人の技を体感します。

関連教科
○生活科 ○社会科 ○総合的な学習の時間

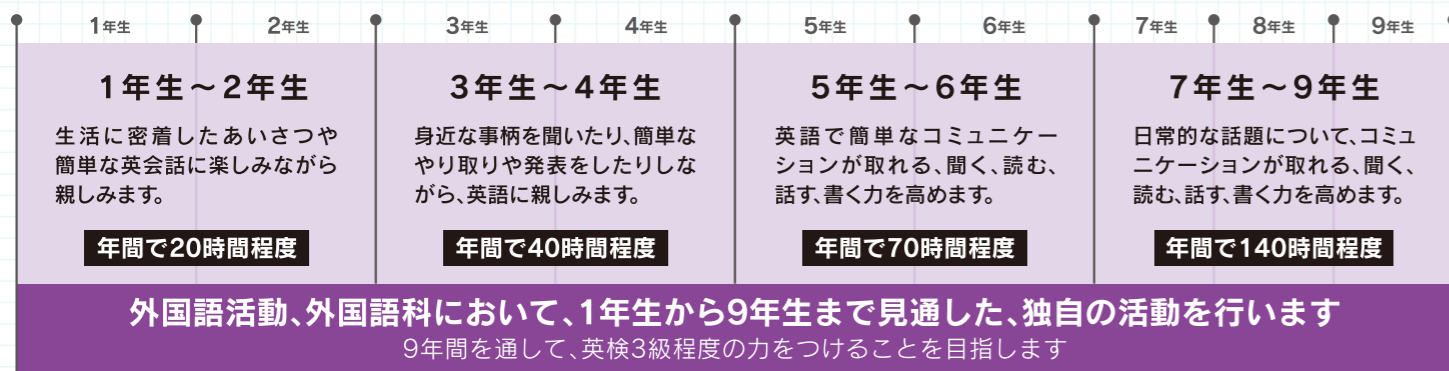


地域と、地域を学びます！

地域の人たちが来校し、地域のことについて子どもたちに教えます。また、子どもたちが地域に出かけ、地域の人たちに地域のことを学びます。地域の人たち、地域にあるもの全てが、子どもたちの教材です。

にじの丘学園の国際教育

INTERNATIONAL



にじの丘学園の異学年交流

COMMUNICATION

